

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	個別で外食やドライブに行き、外出支援は継続して行っているが、敷地内の戸外への散歩が定期的に行っていない。外気浴または散歩を習慣化していきたいと考える。	利用者様1人につき、1日1回以上外気浴または散歩ができるように支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・午前、午後の2回に利用者様数名ずつに分かれて、外気浴または散歩ができる時間を作る(移動を含めて30分程度) ・戸外で外気浴ができる環境を整える *場所を決め、ベンチや簡易イスの設置を行う。歌集などを作成し、外気浴をしながら出来る事を行う。 	10ヶ月
2	1 36 37	グループホームの理念の一つである「プライバシーに配慮した声掛け」について、特に排泄関係の職員間の情報共有・連携などの表現について改善をしていきたい。	利用者様が目の前におられなくても、尊厳が保たれるような言動ができ、目の前におられる時でも適切な表現と確実な連携を取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での連携時の表現について、プライバシーの観点から普段を顧みて、悪い例・良い例をあげ話し合う。 ・排泄関係の連携で、プライバシーに配慮した隠語と連携の仕方を職員間で決め実践する。 	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。